

# 第33回

# うつのみやこども賞だより

平成28年度 10回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

## 『森の石と空飛ぶ船』

岡田淳／著（偕成社）

～読んだ本の感想より～



- 森林を題材にした物語の中で、1番おもしろいと思う。ヒカリやロボットなど、ふしぎな生き物がたくさんいて、おもしろい。
- 石の力をかりて、冒険をするのが、スリル満点で楽しかったです！不思議で面白いストーリーでした。
- 若葉小の3人と、つながっている世界のみんなで協力しぼうけんしたり、全員で助け合って森の石を守っていくところがよかったです。
- 木から別の世界へ行くのがあたらしいと思った。自然についてもう一度考えべきだなと思った。
- 森の石に念じるとなんでもできるのはすごいと思った。
- 素ぼくな所からはじまり、そうだいなぼうけんが始まっておもしろかった。
- 森の石の力はすごいと思ったし、森の石の力をめぐってロボットたちとたかかうところは、ドキドキした。

『あたしの、ボケのお姫様。』

令丈ヒロ子／著（ポプラ社）

- 天然で昭和のアイドルみたいなるりりとまどかのコンビが、会話をするだけでよかった。
- 女の子が主人公のお笑いの話はそんなにないのでとてもおもしろかったです。
- 2人がまたテレビに出られたらいいと思う。2人のその後が気になる。
- まどかとるりりとキ工蔵とイケ蔵の関係がちょうどよくおもしろかったです。
- 関西弁でかいてあるのが新鮮だった。

『まっしょうめん！』

あさだりん／著（偕成社）

- ふだんあまりかかわりのない剣道についての本だったから、新鮮な感じでよかった。
- 主人公の気持ちがどんどん変わっているのが見ていて楽しかったです。剣道のことがよくわからなくても楽しめました。
- 剣道をとおして、小学校のころの友達にあえてよかったと思った。
- パパがうその約束をしたおかげで剣道をやることになった成美がかっこよかったです。
- 剣道には、私が知らない作法や試合に勝ってガッツポーズをするなどといった相手の負けを喜んではいけないということに驚いた。
- 礼儀正しく成長していったなるみはりっぱだと思う。

『三島由宇、当選確実！』 まはら三桃／著（講談社）

- 私達のすごい近くに政治が関わっているということが実感できました。
- 選挙のことがしれてよかったしストーリーもよかった。
- 他の本はだいたい結果が予想つくが、これは、結果が最後まで分からずよかった。
- 選挙について少し詳しくなった気がしました。
- 今までよく知らなかった政治のことを一さつでよくわかった。
- 由宇は明るく元気な性格で読者によく伝わってきた。

平成29年3月5日